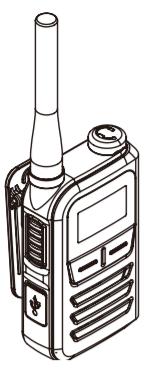


特定小電力トランシーバー  
FTH-214  
取扱説明書



総務省技術基準適合品

免許不要  
単3形電池 1本動作  
直接通話 20CH  
防塵防水型 IP55

お買い上げいただき、ありがとうございます。  
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。  
お読みになった後は、大切に保管してください。  
このトランシーバーは国内専用モデルです。  
海外では使用できません。

開発製造：バーテックススタンダード LM.R 合同会社  
a Motorola Solutions Company  
URL : <http://standard-radio.jp>



© 2021 バーテックススタンダード LM.R 合同会社  
無断転載・複写を禁ず  
Printed in China

## 安全上のご注意 ~必ずお読みください~

本機を安全に正しくお使いいただくために、次のことに十分ご注意ください。

**危険** 誰かの命を方をすると、人が死なまたは重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

**警告** 誰かの命を方をすると、人が死なまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意** 誰かの命を方をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

**○** 行ってはならない禁止事項です（例：③ 分解禁止）。

**!** 必ず守っていただきたい注意事項です。

**危険**

自動車やバイク等を運転しながら使用しない

車の事故の原因になります。運転者が使うときに、車を安全な場所に止めてから操作してください。

航空機内も病院内などでの「使用を禁止された区域」では電源を切る

電子機器や医療機器の影響を受ける場合があります。

引火性ガスの発生する場所や高所などの危険な場所で使用しない

発火事故や火災などの原因になります。

電池が漏れると皮膚に付着したり、目に入ると危険

化学物を傷つけます。電池内部の电解液が皮膚や衣類に付着した場合は、すぐに大量の水で洗浄して下さい。また、目にに入った場合は失明の恐れがありますので、すこすこに大量の水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。

電池を火のそばでや高温の場所で充電・使用・放置しない

火災、漏液、発熱、破裂、発火などの原因になります。

電池を充電しない、火のそばで投げ込まない

漏液、発熱、破裂、発火などの原因になります。

電池の端子にはんだ付けやショートしない

端子に絞り付いたリップレスやアン端子などでショートしないでください。

電池を分解・改造・破壊しない

漏液、発熱、破裂、発火などの原因になります。

**警告**

分解や改造しない

本機の電源は必ず無線局です。「証明ラベル」や「製造番号」を剥がしたり、分解や改造をする場合は絶対に行わないでください。また、カバー等の事故や故障の原因になります。

FTH-214は「IP55」防塵防噴流の構造になっておりますが、特に海水などをついたときは、蛇口から海水を直接当てる、高压洗浄機、エアスター・スチーム洗浄等を使用する際は、洗浄装置を真っ直ぐに入れてなるべく早く洗い流し、柔らかい乾いた布等で拭き上げ、十分乾燥する。

性能寿命を低下させる原因になります。

周囲温度が極端に高い場所、または極端に低い場所での使用は避ける

温度、湿度 +50°C の範囲以内で使用してください。

自動車、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

本機の電源が他の機器に影響を及ぼすことがあります。誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカー使用者は使用しない

本機の電源がペースメーカーに影響を及ぼすことがあります。誤動作による事故の原因になります。

電池を電磁調理器の上や中に入れない

電池の漏液や火災、破裂、発熱などの原因になります。

電池の端子にはんだ付けやショートしない

端子に絞り付いたリップレスやアン端子などでショートしないでください。

電池を分解・改造・破壊しない

漏液、発熱、破裂、発火などの原因になります。

電池以外で使用しない

機器の故障だけでなく、電池の漏液、発熱、破裂、発火などの原因になります。

**注意**

アンテナを折り曲げたり、外したりしない

アンテナの変形や破損の原因になります。

人の多い場所では使用しない

アコスのため、ケーブルの原因になります。

トランシーバーや電池は「強烈衝撃」を加えたり、投げつけたりしない

トランシーバーは破損する原因になります。電池は漏液、発熱、破裂、発火などの原因になります。

長時間ごとに充電しない場合には、安全のため電源をオフにして、電池を外す

漏液、発熱、破裂、発火などの原因になります。

磁気カードなどもトランシーバーに近づけない

キッピングカードやプロセスカードなどの内容が消されてしまう原因になります。

トランシーバーを直射日光の当たる場所や熱器具の近くに放置しない

変形や色変の原因になります。

溶剤（シンナー、ベンジン等）や中性洗剤等でケースを拭かない

変形や色変の原因になります。ケースが汚れた場合には、真水で洗い流し、乾いた柔らかい布で拭いてください。

小さなお子さんの手の届かない場所に保管する

ケガなどの原因になります。

指定以外のオプションを使用しない

故障の原因になります。

当社正品以外のオプションの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、当社では一切責任を負いません。

オプションのマイクロコンタクトを取り付けた際は、コードを強く引き伸ばしたものにしてください

コードの断線による故障の原因になります。

イヤホン等を使用するときも音量を大きくしない

聴力障害の原因になります。

※ 市販のアルカリ乾電池やオプションのニッケル水素電池（FNB-135）

## 防塵 / 防水構造について

FTH-214のIP規格・保護等級はMC/SP端子のラバーキャップと電池のタをしっかりと閉めた状態で、IP55<sup>1</sup>になります。

**【防塵について】**IP5X（防塵形）は、動作及び安全性を阻害するほどの粉塵が内部に侵入しないこと。

**【防水について】**IPX5（防噴流形）は、あらゆる方向からの噴流水による有害な影響がないこと。

本機の防塵 / 防水性能を未永く確保していくために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください。

## ■キズ、劣化、外れ、汚れなどの確認

・キヤスイッチ類のラバー

・MC/SPジャックのキャップ

・防水キャップ

・電池を入れる底面フタの防水パッキン

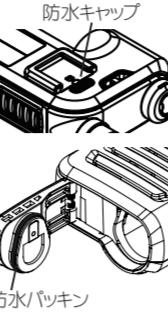
## ■お手入れのしかた

海水・砂・泥などがついたときは、下記の要領で手入れをしてください。

1. 必ずMC/SPジャックのキャップと電池を入れる底面フタを確実に閉める。

2. 洗面器に真水を入れ、手で少しづつ水をすくい汚れを洗い流す。

3. 乾いた柔らかいきれいな布で水分を拭きとて十分乾燥させる。



※：IEC（国際電気標準会議）に基づく、粉塵や水の侵入に関する保護等級です。

## 付属品

ご使用になる前に付属品をご確認ください。



・取扱説明書 / 保証書（本書）



（トランシーバーの置台）

## 運用時のご注意

- 他人の会話を聞いて、これを漏らしたり窃取することは法律で禁止されています。
- このトランシーバーは日本国内専用モデルです。海外では使用できません。
- 防噴流になっておりますが、大量に水かかる場所や水中での使用は避けください。
- ご使用になる環境はそれぞれ異なりますので、全ての状態での防水性能を保証するものではありません。

## ハンドストラップの取り付け

ハンドストラップは必要に応じて下記のように取り付けてください。

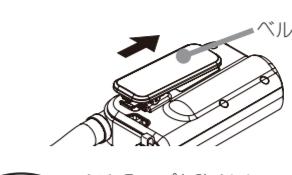


補足

丈夫な市販のハンドストラップを使用してください。

## ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップをレールにあわせカチッと音がするまで、確実にスライドします。



補足

ベルトクリップを外すときは、指を使わずにドライバー等でロックバーを上げながらスライドして外します。指を使うと爪をはがしてケガの原因になります。

## 各部の名前と機能

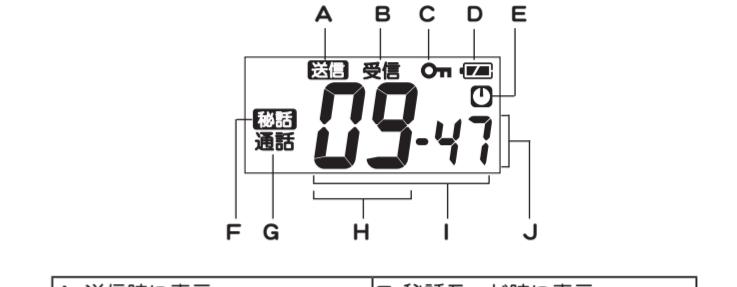
## ⑥ MC/SP 端子

オプションのスピーカー / マイクロホンなどを接続する端子です。

注意

オプションを使用しないときに、キャップをしっかり付けないと防水になります。

## ⑦ ディスプレイ



## A. 送信時に表示

F. 秘話モード時に表示

## B. 受信時に表示

G. 通話中表示

## C. ロック表示

キーをロックしたときに表示

## D. 電池残量表示

H. チャンネル番号表示

## E. オートパワーセーブ表示

I. セットメニューの表示

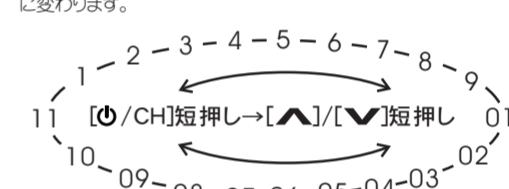
## J. グループコード表示

オートパワーセーブをONにすると表示

## 基本的な通話のしかた（ノーマルモード）

## 補足

○ [① / CH]を短押しし [▲] または [▼] を押すと、チャンネルは下記のようになります。



## 注意

○ 電源を入れるとディスプレイに「Er」（エラー）が表示された場合は、外部マイクロホンが「正しく接続されていない」または「スピーカー（イヤホン）が接続している」可能性があります。

通話する前に「接続したスピーカーマイクロホンやマイク」が確実に接続されているか確認して下さい。（セッターメニュー SP-xx 参照）。

○ 相手の声が途切れ途切れとなるときは、モニター機能を使用すると途切れなくなるかもしれません（一時的にモニターをする）参照。

○ 連続して通話できる時間は3分以内で、その後ディスプレイに「通話」が点灯します。

3分間連続して通話し続けると、送信は自動的に停止します。

なお、送信が停止する3秒になると、ディスプレイに数字でカウントダウンが表示され、送信が停止する10秒になると、「ビーピー」と警告音が鳴ります。

また、送信が停止した場合、その後の2秒間は「通話（PTT）」を押しても「ブーブーブーブー」と警告音が鳴ります。

○ 他局の信号を受信しているときは、送信できません。

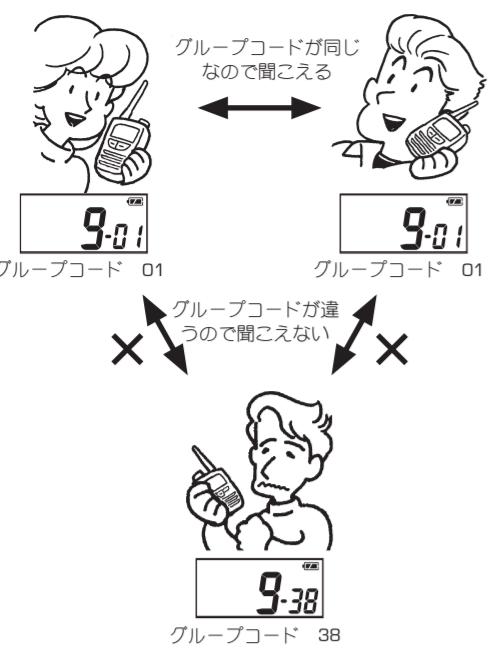
ディスプレイに「受信」が点灯した場合、「通話（PTT）」を押しても「ブーブーブーブー」と警告音が鳴ります。

ただし、「通話」が点灯している間に「通話（PTT）」を押すと送信します。

## 通話モードの切り替えた

## グループモード

同じチャンネルで、他のグループの通話が聞こえてわざわざ難しい”そんな時に、あらかじめ同じグループコードに設定しておくと仲間同士の音声だけが聞こえます。



### 設定のしかた

運用する前に仲間同士で同じグループコードに設定します。

初期値は“01”に設定してあります。

- ① [MODE/ On] を押してグループモードにします。  
現在設定しているグループコードが表示されます。
- ② [MODE/ On] を押しながら [▲] を押します。  
グループコードが点滅します。
- ③ [▲] または [▼] を押してグループコードを選びます。  
GP-01 ~ GP-47 (47通り) から選択します。
- ④ [通話 (PTT)] を押します。  
設定が終了します。

**補足** グループコード(47種類)が不足した時など、グループコードに替えて、108種類のDCSコード(d017 ~ d754)を使用することができます。

**注意** グループコードが38通りの旧機種と通話する場合は、GP-1 ~ GP-38以内で設定してください。それ以外のグループコードを使用すると通話できなくなります。

### 通話のしかた

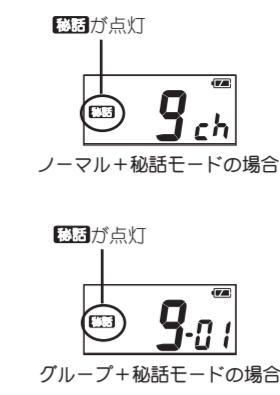
“基本的な通話のしかた”と同様に行います。

**補足** 他人の通話が聞こえる場合は、グループコードを変更してください。

## 秘話モード

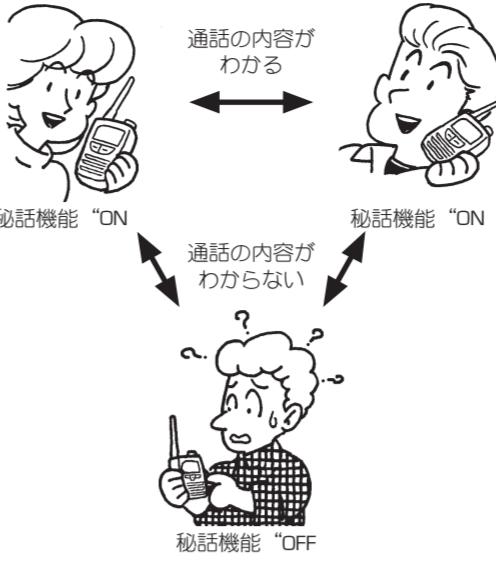
### 秘話モードに切り替える

“**秘話**”が点灯するまで、[MODE/ On] を何度も押します。



秘話モードに設定していない人は、通話内容を聞き取れなくなります。

秘話モードは、ノーマルモード、グループモードのどちらでも使用することができます。



### 通話のしかた

“基本的な通話のしかた”と同様に行います。

## セットメニューの一覧表

表示	項目	設定値 <sup>*</sup> (太字: 初期値)	参照
Sc-xx	スキャン機能	OFF/ALL	A
bP-xx	ビーコンのON/OFF	ON/OFF	-
tb-xx	送信ビーコンのON/OFF	OFF/ON	-
tt-xx	送信ビーコン音の音量調整	dF/1 ~ 15	-
LP-xx	照明ランプの設定	2/OFF	-
AP-xx	オートワーカーの設定	OFF/ON	-
EG-xx	外部マイク感度の設定	1/2/3/AU	B
IG-xx	内部マイク感度の設定	1/2/3/AU	B
cP-xx	コバントーナー機能	OFF/ON	-
tP-xx	送信音量の機能	OFF/ON	-
Ph-xx	PTTホールド機能	OFF/ON	C
hE-xx	音質切换機能	1/2	-
Sq-xx	スクランブルレベルの調整	1 ~ 4	-
SP-xx	イヤホン断線チェック	OFF/ON	-
bS-xx	スピーカー機能の設定	OFF/ON	表面
bH-xx	キーロック・ディスプレイ非表示設定	OFF/ON	D
cl-xx	クローン機能	OFF/ON	E

\* : 設定値ディスプレイ表示 “OFF” → “of”, “ON” → “on”, “ALL” → “AL”

## セットメニューの操作

各セットメニューの設定を変更するときは次の手順で行います。

- ① [↓ / CH] を長押しして電源を切ります。
- ② [MODE/ On] を押しながら [↓ / CH] を長押しで、電源を入れます。  
セットメニューの “Sc-xx” が表示されます。
- ③ [MODE/ On] を押すたびに、セットメニューの項目が切り替わります。  
設定したいメニューを選択します。  
例: “bP-xx” を選択  
[↓ / CH] を押すたびに、セットメニューの項目が後退します。
- ④ [▲] または [▼] を押して、点滅している設定値を選択します。
- ⑤ [通話 (PTT)] を押します。  
設定を確定し、セットメニューを終了します。

### A : スキャン機能 (Sc-xx) ~受信信号を探す~

自動でチャンネルを切り替えながら信号を探す機能です。信号を受信するとスキャンマークが点滅し、自動的に停止し、信号がなくなると、約10秒後に再びスキャンを開始します。

スキャン機能を使用する場合は、あらかじめ下記のセットメニュー (Sc) で “AL” を設定します。

**of (初期値)** スキャン機能を OFF にします。  
**AL** 全チャンネルをスキャンします。

### スキャン機能を使用する

#### スキャンを開始する

[↓ / CH] を短押し後、[▲] または [▼] を長押しします。  
チャンネルをスキャンすることができます。

1 1-2-3-4-5-6-7-8-9-01-02  
11-10-09-08-07-06-05-04-03

#### スキャン方向を変更する

スキャン中に [▲] または [▼] を押します。  
スキャン方向を変えることができます。

#### スキャンを停止する

[MODE/ On] または [通話 (PTT)] を押します。

### B : マイク感度の設定 (EG-xx / IG-xx) ~外部マイク / 内部マイクの感度を設定する~

#### 外部マイク感度の設定 (EG-xx)

外部マイクのマイク感度を設定します。M+66F4B 使用時は “1” に設定してください。

1	外部マイクの感度：小
2 (初期値)	外部マイクの感度：標準
3	外部マイクの感度：大
AU	音声の大小に応じて自動で適切な感度を調整します。

**EG-xx**

#### 内部マイク感度の設定 (IG-xx)

トランシーバー本体に内蔵してあるマイクの感度を設定します。

1	内部マイクの感度：小
2 (初期値)	内部マイクの感度：標準
3	内部マイクの感度：大
AU	音声の大小に応じて自動で適切な感度を調整します。

**IG-xx**

## C : PTT ホールド機能 (Ph-xx) ~通話 (PTT) スイッチの動作を設定する~

[通話 (PTT)] フラッシュを押したときの動作を設定します。

- of (初期値)** [通話 (PTT)] を押すている間送信し、放すと待ち受けの状態になります。  
[通話 (PTT)] を一度押すと連続送信状態（最大3分間）となり、もう一度押すと待ち受けの状態に戻るホールド機能付きPTTスイッチとして動作します（外部マイクの[通話 (PTT)] では、この機能は動作しません）。
- 補足** 送信が2分30秒経過するとディスプレイにカウントダウンを開始して、「ピピピ」と予告音が鳴り、3分経過すると待ち受けに戻ります。約2秒間「ブーブーブー」と警告音が鳴り送信できません。送信しない場合は、警告音が鳴り終わったら[通話 (PTT)] を押すと、自動で送信復帰機能が動作します。
- 基本動作は補足文記載内容と同様ですが、連続送信が3分経過するごとに一旦待ち受け状態になり、そのチャンネルで他に使用者がなければ、約2秒後に自動で送信状態に戻ります。この動作を自動で繰り返します。自動送信復帰機能が動作しているときは、通話アイコンが点滅しています。

**Ph-xx**

## D : キーロック・ディスプレイ非表示設定 (hd-xx) ~キーロックと共にディスプレイを非表示にする~

あらかじめセットメニューの “hd-xx” を “ON” に設定します。  
[MODE/ On] を長押ししたときに、キーロックと共にディスプレイを非表示することができます。再度 [MODE/ On] を長押しすると解除されます。

**hd-xx**

- ① [↓ / CH] を長押しで電源を切ります。
- ② [MODE/ On] を押しながら [↓ / CH] を長押しで、電源を入れます。  
セットメニューの “Sc-xx” が表示されます。
- ③ [MODE/ On] を押して、“hd-xx” を選択します。
- ④ [▲] または [▼] を押して、“ON” に選択します。
- ⑤ [通話 (PTT)] を押します。  
設定を確定し、セットメニューを終了します。

**hd-xx**

## E : クローン機能 (cl-xx) ~同じ設定に複数する~

送り側に設定してある内容をワイヤレスで複数台一斉にコピーすることができます。

- コピーできる設定内容は下記のようになります。
- 現在設定しているチャンネル／グループコード／DCSコード
  - 現在設定している通話モード（ノーマル／グループ／秘話）
  - セットメニューの設定内容



- 注意** ○ 雑音の多い場所でクローン機能を行なうと正常にコピーできない場合があります。  
○ 受け側と受け側を1m以内に近づけた状態で、クローンを行なってください。  
○ クローン機能はFH+214同士のみの使用することができます。

### クローン機能を設定する

#### 1 受け側を設定する

セットメニュー (cl-xx) でクローン機能を “ON” に設定します。

**of (初期値)** クローン機能を OFF にします。  
**on** クローン機能を ON にします。  
**cl-xx** “Ccl” が表示されます。

#### 2 送り側を設定する

- ① 受け側と同様、セットメニュー (cl-xx) でクローン機能を “ON” に設定します。
- ② [通話 (PTT)] を押します。  
データが送出されます。
- ③ [↓ / CH] を長押しで電源を切ります。  
セットメニューの設定を終了します。
- ④ [通話 (PTT)] を押します。  
受信側で通常の操作を行ないます。
- ⑤ [↓ / CH] を長押しで電源を切ります。  
受信側も電源を切ります。

電源を OFF にすることで、クローン機能は OFF になりますので、セットメニューで OFF にする必要はありません。

### 正常に動かないとき ~ファクトリーリセット~

スイッチを押しても反応しないときや、『故障かな?と思うまえに...』の項目に従って点検しても正常に動作しないときは、次の操作を行なってください。

ファクトリーリセットを行うと、登録した内容はすべて消され、工場出荷時の“初期値”に戻ります。

- ① 一度、[↓ / CH] を長押しで電源を切ります。
- ② [▲], [▼], [MODE/ On] を押しながら [↓ / CH] を長押しで、電源を入れます。  
ディスプレイに “Fr” が表示されます。
- ③ [通話 (PTT)] を押します。  
工場出荷時の“初期値”に戻ります。

### 故障かな?と思うまえに...

間違った操作をしていませんか?  
修理を依頼される前に、ちょっとお確かめください。

○ 電源が入らない!

- ・電池は正しく取り付けてありますか？電池の極性 (+ / -) をご確認ください。
- ・電池は消耗していませんか？
- ・オプションのニッケル水素電池 (FN8-135) は十分に充電してありますか？

○ 電源を入れるとディスプレイに “Er” と表示する！

- ・接続しているオプションのスピーカーマイクやターンマイクのスピーカー（イヤホン）が断線している。またはねじ込み式プラグが確実に締め付けてない可能性があります。

○ 送信できない！

- ・通話 (PTT) スイッチを正しく押していますか？
- ・セットメニューの送信禁止機能 (IP) が ON になってしまいませんか？
- ・ディスプレイに “Er” と表示されて送信できません。
- ・相手が話し中ではありませんか？“受信” が点滅しているときは、送信できません。
- ・外部マイク使用の場合、きちんと繋ぎなく接続されていますか？

○ 通話できない！

- ・相手と同じ通話モード（ノーマルモード・グループモード・秘話モード）に設定していますか？
- ・相手と一緒にチャンネルに設定していますか？
- ・相手と同じグループコード（またはDCSコード）に設定していますか？
- ・相手との距離が離れていませんか？

○ フルトーンで音が聞こえない

- ・セットメニューのオートワーカー機能 (AP) が ON になってしまいませんか？
- ・2時間も操作しないと電源の切り忘れみたい、自動的に電源が OFF になります。
- ・電池が消耗していませんか？
- ・オプションのニッケル水素電池 (FN8-135) は十分に充電してありますか？

○ グループモードで運用中他の人の通話が聞こえる！

- ・モード機能になってしまいませんか？
- ・電源を切り、再度電源を入れると解消されます。
- ・他の人も同じグループコードでDCSコードを使用している場合があります。

グループコードまたは、DCSコードを変えてください。

## オプション一覧表

品名	型番





<tbl\_r cells="2" ix